

第150回リニアドライブ技術委員会議事録

日時：平成28年6月24日(金) 12:30～13:20

場所：信州大学 SASTec 会議室

出席者：委員長 水野（信州大）

副委員長 森下（工学院大）

委員 有賀（シンフォニア）、大橋（関西大）、北野（JR東海）、白石（安川電機）、
藤崎（豊田工大）、矢野（JAXA）、脇若（信州大）オブザーバ 打田（鈴鹿高専；MEL）、江澤（キャノン；MEL）、太田（鉄道総研；MEL）、
小田原（豊田工大；MMA）、岸田（東洋電機；MEL）、栗田（群馬大；MLV）、
佐藤（長野県工科短大；MEL）、田代（信州大；MMA）、直江（電磁研；MAG-MMSD）、
仲岩（多摩川精機；MEL）、楡井（長野高専；MEL）、長谷川（鉄道総研；MLV）

幹事 田中（鉄道総研）

幹事補佐 鈴木（東京都市大）（記）

(23名)

欠席連絡（委任） 古関（東京大）、中川（東京都市大）、平田（大阪大）、増澤（茨城大）、
森實（大阪工大）、矢島（SMC）、和多田（東京都市大）、渡邊（IEEJプロ）（8名）

提出資料

- 150-1 第149回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（鈴木幹事補佐）
 150-2 リニアドライブ技術委員会（田中幹事）
 150-3 平成28年度第1回D部門研究調査運営委員会 議事録（案）（水野委員長）
 150-4 平成28年度 リニアドライブ技術委員会 活動報告（水野委員長）
 150-5 産業用リニアドライブの活用技術調査専門委員会 活動方針及び報告書（矢島幹事）
 150-6 磁気浮上技術調査専門委員会 活動方針及び報告書（大橋委員）
 150-7 電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術専門委員会 活動方針及び報告書（藤崎委員）
 150-8 論文・部門大会の価値向上に向けての取り組み（水野委員長）
 150-9 役員会からの宿題についてご協力をお願い（水野委員長）
 150-10 D部門活性化策と技術報告書販売増による収益改善アンケート（水野委員長）
 150-11 リニアドライブ関連カレンダー（田中幹事）
 150-12 産業用リニアドライブの活用技術調査専門委員会（MEL）活動報告（矢島幹事）
 150-13 第7回 産業用リニアドライブの活用技術調査専門委員会 議事録（案）（矢島幹事）

議事

議事に先立ち、今回のLD技委に各調査専門委員会の幹事等が出席しているとの説明があった。

1. 議事録確認

第149回委員会の議事録（資料150-1）について、修正なく承認された。

2. 報告事項

- 2.1 資料150-2を基に、田中委員からLD技委名簿の説明があり、変更のないことを確認した。
 2.2 資料150-3、150-4を基に、水野委員長から全国大会シンポジウムについてMMAが担当することを確認した。LD研究会の論文累計102件（6月現在）との説明があった。
 2.3 資料150-5から資料150-7を基に、各調査専門委員会の活動方針及び報告書について説明があった。

3. 審議事項

- 3.1 資料150-8を基に、論文・部門大会の価値向上に向けて、論文の引用を増やすこと、共通英文誌に各部門の論文を引用することなどの意見があった。
 3.2 資料150-9を基に、宿題1)～3)について回答の依頼があり、LD技委として、「1)はLD技委としてはなし、2)不都合なし、3)出して良い」とする提案があり承認された。また、LDIAでは、招待講演を積極的にとの意見があった。
 資料150-10を基に、D部門活性化策等のアンケートについて、回答として「協力の可否：可」、各委員長より集客が見込めるのか、どこまで業者が代行するのか、業者がデータの情報配信してくれ

るのか、などの意見があった。

3.3 SEAD30(5月)について、信州大学が担当するため、6月のLD研究会について今後検討することとなった。

3.4 資料150-11を基に、カレンダーについてMLV委は10月7日に開催との説明があった。

3.5 MDDの技術報告書はいつになるのか確認があった。

4. 各調査専門委員会活動報告

資料150-12, 資料150-13を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

5. その他

矢島幹事より、MAGLEV2016のホテルについてメールにて紹介があった。大橋委員よりMLV担当のD部門大会シンポジウムについて説明があった。

次回(第151回)開催予定: 2016年10月28日(金) 15:00~17:30 JR東海品川ビルA棟会議室

以上